

開催
しました!

防災活動における男女共同参画啓発の取り組み講座

「福島の避難所で見えたもの～女性相談員の体験から考える地域防災～」

●日時： 第 1 回「みんなが安心できるまちにするために」

平成 31 年（2019 年）2 月 24 日（日）14：00～16：00

第 2 回「女性が地域で力を発揮するために」

平成 31 年（2019 年）3 月 10 日（日）14：00～16：00

●場所： 「ほっと越谷」セミナールーム

●参加者： 77 人（第 1 回 47 人、第 2 回 30 人）

●内容： 家庭内や地域での災害・防災対策を講じる際に、男女共同参画や多様な人が抱える多様な困難に配慮した視点で考え、行動する力を身につけることの大切さに気づくための情報提供を行う講座です。第 1 回では、越谷市危機管理課職員からハザードマップを切り口とした越谷市の防災対策について聞いた後、講師の丹羽麻子さんから、福島の避難所における被災者支援とそこから見える女性が抱える課題、その解決のための地域防災の取り組みについてお話していただきました。第 2 回は、まだまだ女性の参画が少ないとされる地域の防災分野において、これまで以上に女性が力を発揮できるようになるための工夫やアイデアをグループ毎に自由に話し合い、発表しました。講座の終わりに、各自が今後取り組みたいと考える「男女共同参画の視点から見た私の防災アクション」としてまとめ、意思表示を行いました。



●参加者の感想

【第 1 回】

- ・男女共同参画の視点が防災に必要なことがよくわかりました。
- ・防災のためには共助がとても大切と再確認しました。自治会活動・防災訓練、積極的に参加する等で共助の基をつくりたいです。
- ・災害時の女性の力の重要性は色々な講演で耳にしますが、なかなか自治会内の男性優先の考え方が改善されないのが現状です。防災研修をしたり、防災訓練等で話し合い、少しずつ理解していただけるように実際の体験等を踏まえて意見を伝えたいと思いました。

【第 2 回】

- ・ワークショップがとてもよかったです。各地区の違う方々の意見が伺えてよかった。「気づき」も多かったし、「自分の地区のふりかえり」ができた。
- ・いろいろな方の意見を聞くことの大切さを学びました。あらためて防災について考えていくことの必要性があると思いました。